

インタラクション

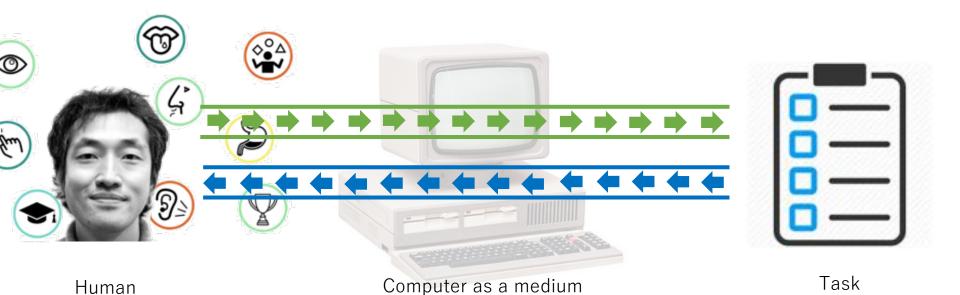
Interaction Design

第7回 プロトタイピング Prototyping

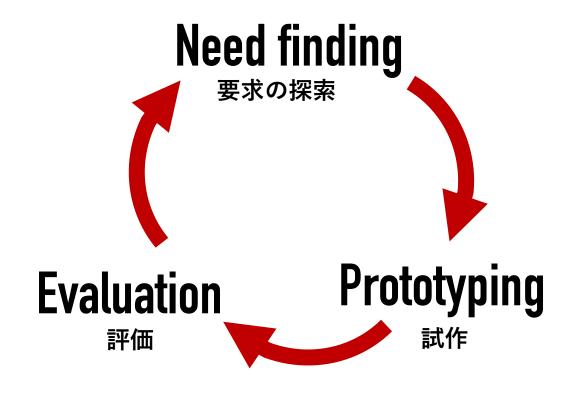
立命館大学 情報理工学部 松村耕平



ヒューマンコンピュータインタラクション



HCIの基本的な進め方



HCIの研究においてはこの3つを繰り返す

試作 Prototyping

- 今日のThemeは試作 Prototyping
- なぜPrototypingをするのか
 - 例
- Prototypingの方法
 - 口頭 verbal
 - 紙 Paper
 - Wizard of Oz WoZ
 - 物理的なもの Physical
- それぞれの方法の利点と欠点



なぜPrototypingするのか

つくりたいものが世の中に存在していないから





- とにかく素早くUserからFeedbackを得るため
- ・議論していても結果は得られない→やってみて考えることが必要
- Prototypingをする過程で設計への気づきを得るため

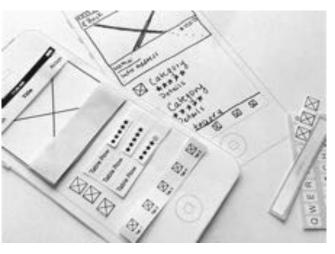


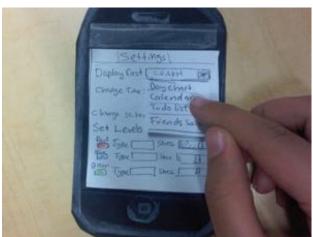
低忠実度(Low fidelity)

発表

Prototypingの役割

- なにかQuestionがあってそれに答えるためのFeedbackを得ること
 - Interfaceの見た目はどうあるべきか?
 - Systemはどう動くのか?
 - その体験はどうあるべきか?







Digital Camera Prototype (Kodak)

IDEO



試作のあるべき姿 the rights of a prototype

- ・完成していることを求めない
 - 動かなくて良い
 - 一部が欠けていても良い
 - 完成させるのが目的ではなく、問いに答えるのが目的
- ・簡単に変更が可能であること
 - 切ったり、貼ったり
- ・不要になったら捨てられること
 - 次のバージョンができたら捨ててしまえ



低忠実度のPrototype(Low fidelity)

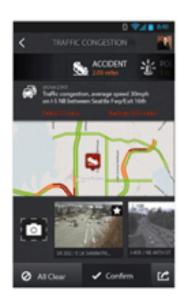
- ・最初の段階で作るPrototype
- とにかく試してFeedbackを得ることが大事
- 簡単に変更できることが必要



高忠実度のPrototype(High fidelity)

- 最終段階においては完成度を上げる事が必要
- 完成度をあげるためのFeedbackを得る
- Working prototype





Palm Pilot (PDA)

Jeff Hawkins







数は力

• 問いに答えるためにいくつものPrototypeを作ることは正しい







Microsoft Mouse

IDEO







13.5度の傾き

Shunji Yamanaka (1996)







Verbal Prototype 会話による試作

会話によって試作をする

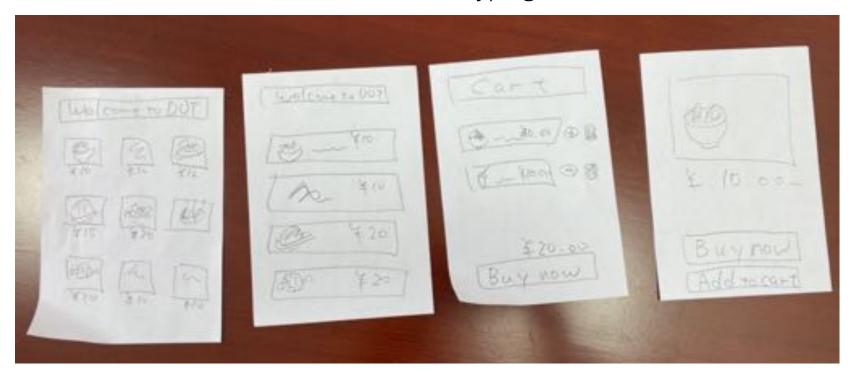
「ジェスチャで操作するインタフェースを想像してみてください。それは、あなたのジェスチャを認識して、音楽の再生を操作することができます。開いた手を閉じると音楽が止まります。閉じた手を開くと音楽が再生されます。手を右横に振ると次の音楽に、左に振ると前の音楽が再生されます。」

- 非常に簡単→単純に説明すれば良い。何も要らない
- 背景となる考えが異なるSocial Desirability Biasが問題
- Analogyなどを使うことで解決 「荷物を好きな場所に運んでくれます。それはDiDiの荷物版だと思ってください」

Paper Prototype 紙による試作

紙に書いて試作する

紙を書き換えれば良いので修正が簡単 何枚も作ることでインタラクションも実現できる →カードプロトタイプ Card-based Prototyping



Physical Prototype 物理的な試作

実際に形を持った(Tangible)なPrototyping

既存の代替となるものを使う 同じ位の {大きさ・重さ} のものを使う 木片、Keyfob、木の棒、本、スマートフォン







Wizard-of-Oz Prototyping (WoZ)

動くものを模倣する

紙、ディスプレイ、ビデオカメラなどを駆使してあたかも動作するSystem を模倣するPrototypeを作る

→実際に動作するSystemを作らずにUserのFeedbackを得られる



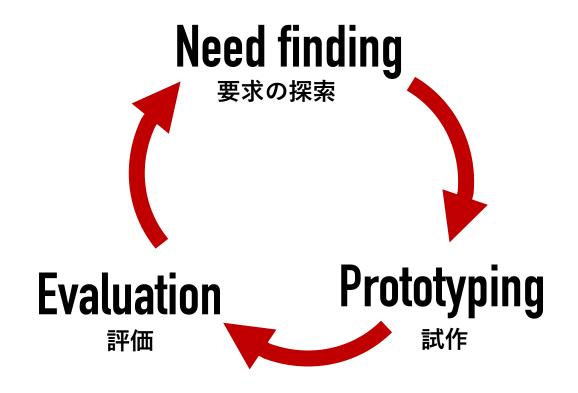
それぞれの方法の利点と欠点

	Verbal Prototype Card Prototype Cal Prototype
インタラクション中に変更可能?	
細かな見た目を気にしない?	
User Interactionを模倣できる?	
見た目の良し悪しを検証可能か?	
評価中に持ち運び可能か?	

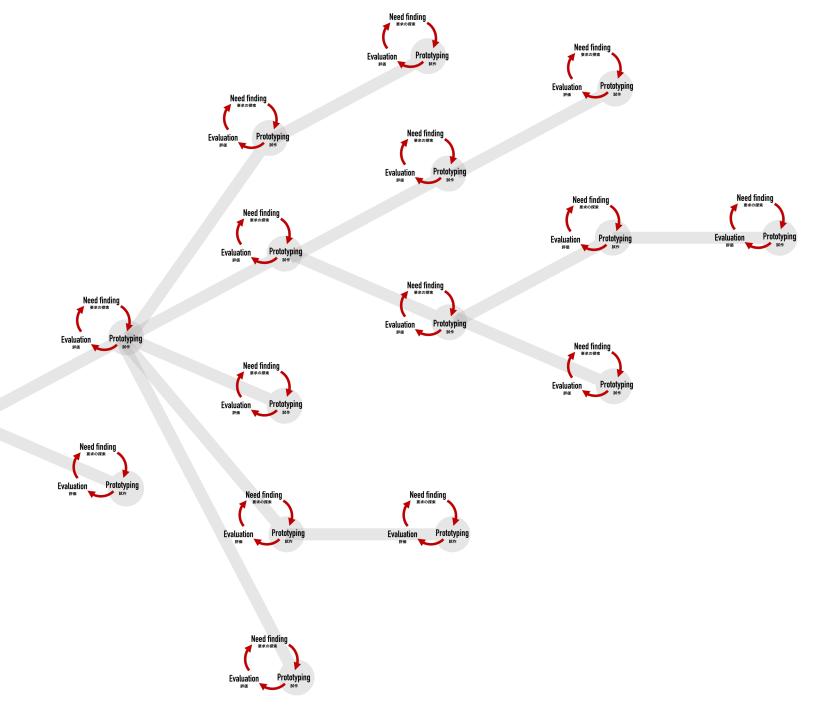
それぞれの方法の利点と欠点

インタラクション中に変更可能? 細かな見た目を気にしない? User Interactionを模倣できる? 見た目の良し悪しを検証可能か? 評価中に持ち運び可能か?

HCIの基本的な進め方



HCIの研究においてはこの3つを繰り返す



Prototyping の段階

Need finding 要求の探索 **Prototyping Evaluation** 試作 評価 後期

初期





高忠実度(High fidelity)





Verbal Prototype

Wizard-of-Oz

Physical Prototype

Paper Prototype

Card Prototype

試作 Prototyping

- 今日のThemeは試作 Prototyping
- なぜPrototypingをするのか
 - 例
- Prototypingの方法
 - 口頭 verbal
 - 紙 Paper
 - Wizard of Oz WoZ
 - 物理的なもの Physical
- それぞれの方法の利点と欠点

